

第74回定期大会 一人ひとりの個性が尊重され、ゆとりと誇りを持って働き続けられる職場、社会を築こう



発行所
東京都千代田区霞ヶ関
財務ビル内 (〒100-0013)
全国税労働組合
発行人 山本 浩二
電話 (03) 3581-3678
FAX (03) 3507-0886
振替口座 00140-2-68514

**“税務の職場”
何でも110番**
zenkokuzei@aol.com

全国税は、職場で起こった問題を解決するため「税務の職場、何でも110番」を常時設置しています(電話とFAXは上記の番号までどうぞ)。

◇全国税ホームページ◇
<http://www.kokko-net.org/zenkokuzei>

全国税は8月20・21日の2日間、都内で第74回全国税定期大会を開催しました。代議員、執行部、オブザーバー、来賓の方を含め延べ一七人が参加し、2日間熱心な討論が行われました。

仕事の問題、全国各地で取り組まれた「戦争法」反対、廃止の運動、原発再稼働反対の運動、全国税の組合員を増やす活動など、多岐にわたる活動の報告やこれからの1年間の運動方針が議論され、運動方針は満場一致で決定されました。

大会は労働歌合唱から始まり、山本副委員長の開会あいさつ、議長に東京支部の早苗穂夫代議員、近畿・京滋支部栗田育治代議員を選出し、議事に入りました。

日本共産党宮本衆議院議員は「今年の1年間で政治が大きく変わりました。先の参議院選挙では1人区32すべてで野党共闘が行われ、11で野党が勝利しました。3年前は2つだけでした。この土

台には長年の労働組合の運動があります。その土台の上で、ママの会や学者の会などの運動が取り組まれたことにあります。参議院選挙の結果は自公と改憲勢力で3分の2となりましたが、安倍首相は選挙中、改憲については一言も語らず、選挙後早々に改憲について

発言していますが、このような騙し討ちは長続きしません。また、働き方改革では、本音は別にして世論との関係で残業をなくすと言わざるを得ません。それであれば足下の公務職場から手を付けるべきです」とあいさつしました。

国公労連豊田勝利中央執行委員は人事院勧告に触れ、「3年連続の引き上げ勧告とはいえ物価上昇に満たない不十分なものです。大きな問題である扶養手当(配偶者)の見直しでは、労働組合へ

の具体的な提示は勧告のわずか一週間前で、組合との協議を保障するものでなく、政府の要請を一方的に取り上げたもので、労働基本権制約の代償関の役割を投げ捨てたものと言わざるを得ません。両立支援では介護休暇の分割取得を認めるなど、一定の前進面がありました。これは私たちの運動の成果です。8月15日の給与関係関係会議では、取り扱いについては決定しませんでした。」

また、賃上げ違憲訴訟については、「9月12日に第4回の口頭弁論が東京高裁で開かれて結審し、年内あるいは年度内には判決が出る予定です。勝利するため取り組みを強めていきます。」とあいさつしました。

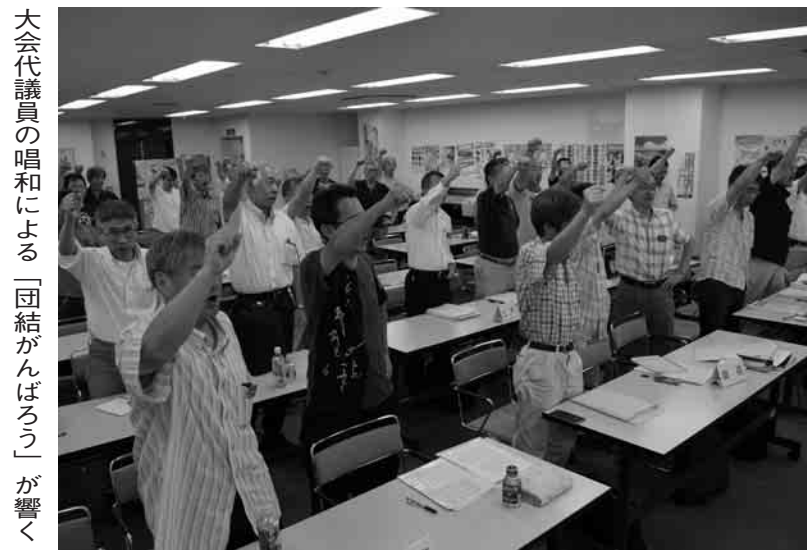
今年度は専科採用者が10数名となり、すべてを管理運営部門へ配置できないため、4名を東京局へ出向させるというやり方を行いました。

参議院選挙直後に政府は全国から機動隊を集めて高江のヘリパッド建設

新役員は、代表委員に稗田慶三さんが、副代表委員には宮城信昭さんが選出されました。

高江のヘリパッド建設、辺野古新基地建設阻止のために全国の皆さんのご支援をお願いします。……

年齢を重ねると素直さが欠落し、猛暑・熱帯夜・睡眠不足の今夏は一層酷くなったと家族の評である▼夏の夜長のオリンピック放送で喜怒哀楽のドラマが見られ、日本選手のメダル獲得が華を添えた。選手・スタッフ等が一体となり創り出した様々なエピソードの紹介で感動は倍増した▼我職場では異常な調査事務運営が進行中である。内示直後に担当者不在の日程調整、部門打合せなしで調査に着手する。上意下達だけを求められる組織に一体感を生みま



細川委員長あいさつ (要旨)

☆去る7月10日に行われた参議院議員選挙の結果は、その後自民党へ所属した議員を含め自民党単独で過半数となり、改憲をめざす他の党の議員も合わせると改憲勢力が三分の二を占めるものとなりました。

これを受け、安倍首相は8月3日に第3次再改造内閣を発足させました。保守的思想を前面に出す防衛大臣を任命し、経済を最優先課題というものの、「改憲は任期中をめざすのは当然」と発言し、改憲に向け着実に進めていく姿勢は明らかとなっています。

☆私たちはこの1年間、憲法9条の改憲に反対し、日本の平和を守るため、昨年9月19日に強行採決した安全保障関連法いわゆる「戦争法」に反対し、廃止させる運動に参加してきました。この運動は幅広い世代に広がっていました。しかし本年3月29日には安保法が施行されました。今月中には可能になった武器携帯の「駆けつけ警護」「宿営地の共同防護」の訓練を始めると言っています。ますます平和を守る取り組みが重要になってきました。

☆8月8日の人事院勧告は、3年連続での賃上げとなっていますが、配偶者手当の減額は大きな問題です。政府税調の検討項目でも配偶者控除の見直しが焦点になっていますが、労働力不足が叫ばれている中で女性の労働力の活用という安倍政権の意向に沿ったものです。

☆国税部内での要求では、管理運営部門の相談切り離し、個人、法人の調査件数の削減、確定期での労働強化反対を掲げ当局に是正を求めてきました。引き続き労働強化にさせないたたかいを展開していきます。

また、マイナンバーカードの身分証明書化に反対し、交渉で当局を追及し、積極的な動きを取らせないように押しとどめています。

☆7月の人事発令では全国で4名の組合員に対して6級ポスト発令を勝ち取りましたが、不十分なものです。職場全体の公正な人事の確立と差別是正のために奮闘しようではありませんか。



寄せられたメッセージ (敬称略・順不同)

中国国税職員組合
国会職員組合連合会
総理府労働組合連合会
国土交通労働組合
全司法労働組合
全経済産業労働組合
全日本国立医療労働組合
JMITU通信産業本部
全労働省労働組合
全情報通信労働組合
株式会社きかんし
農民運動全国連合会
全法務省労働組合
全税関労働組合

に着手しています。辺野古新基地建設についても和解が進められる中で政府は一方的に建設工事を再開しています。また、国の機関すべてに防犯パトロールが命じられ、事務所の管理職20数名が7、8月、19時から22時の間、市中のパトロールに従事しています。全税支部では8月2日にこれをやめるよう沖縄国税事務所に申し入れました。

高江のヘリパッド建設、辺野古新基地建設阻止のために全国の皆さんのご支援をお願いします。……

第33回「全国税・沖縄国公労 全税支部協議会定期大会」

大会1日目終了後、全税・沖縄国公労全税支部協議会の第33回の大会が開催されました。

大会の中で、沖縄国公労全税支部後間書記長は次のようにあいさつしました。

組合員の6級ポスト昇任、5級昇格、6級ポスト昇任者の6級への昇格等、人事要求の実現のため、国税事務所との交渉や年2回の協議会としての長官交渉で当局を追及

「詰碁」 九段 石樽郁郎 黒先
「ヒント」三手目が決め手の好手です。
(7分で二、三段以上)

そろばん弾

大会の討論 管運 OJT の余裕ない

全国税に入って 青空を見よう！

管理運営部門

執行部・稗田

管理運営の定員が年々減っている。減るときは専科の人数を減らし、増えるときはそこを増やしている。その中で様々な問題が出てきている。債権管理事務や延納・物納、資料事務の精通者が育たないのは、教える余裕がないから。窓口に13人が三日に一回張り付いていて、OJTの機会もない。自分が得意なところを優先して事務処理しているため、3年経っても精通者は育たない。相談事務が大きな負担になっている。本当の一般相談なんてあり得なく、何らかの形で納税者にかかわっている。相談

の専門的なセクションを設けるべきだ。

専41期が管理運営に帰ってきてるが、本人希望ではない人もいる。小規模署の管理運営に戻った青年から、3日に一度、仕事の質問の電話が来ている。仕事に誇りも面白味も持てないだろう。



関信・高橋代議員

大規模署には2年連続で4〜5人の新人が来ている。電話や窓口対応でも倍の時間を要し、自分も二日に一度は何らかの当番が回ってきて、時間的な余裕が全くない状況だ。当局回答では、「全

体の仕事がわかる」と言っているが、入力ばかりでどうして全体が分かるというのか。

自分の出身部署以外の事務の習得状況の引き上げに力が注がれている。前任者に聞きたくても、どちらかが窓口だったりしておりできない。

納税証明の来署型電子申請に力を注いでいるが、時間がかかる。

東京・北原代議員

納税証明の来署型電子申請の割合を上げるために、フロアに紙を置かず、「パソコンで入力していただくことになっている」「どうしても紙で請求したい場合には窓口へ」と案内している。

一般相談の中でも専門的知識が必要なものも課

税で受けることになって

いる。電話については、交換手が一般的に専門的かを判断することになっているが、それは無理。

アナウンスで「2」を押しているのだから、個別である。交換事務も、非常勤職員がやっていたりする。



九州・本田代議員

統括官会議で徴収部長が効率的な事務運営（グラフで各署の従事日数を比較）を強調していた。効率化が職場に求められている。福岡局では、さすがに7人以下の小規模署には新人の配置はない。

確定申告



東北・塩谷代議員

文書の紛失のなかで、マイナンバー文書の紛失が絶対にならないよう強調していた。

福島

の署外会場が6時

まで、帰署すると7時

中で水・金の超勤まで計

画され、関信地連に習っ

たイエローカードを提出

し、水・金超勤をなくし

た。原発対応の応援が少

なくなるなかで、東電補

償や収用等で申告も多く

なっている。審査や事後

処理や更正の請求が山

のように残った。

過労で倒れる職員もでるなか、署から要望しても予算もつかなかった。全国税が追及して予算は勝ち取った。



近畿・滑羅代議員

「相談終了17時」の取組みをしてきた。

局長は、大阪に全国標準の対応をするとして、確申期間の縮小や、ひとりの納税者に必要以上に

対応しないようにするというもの。これを「スマート確申の実施」「ウェットな対応からドライな対応へ」といって

それを是とするもので

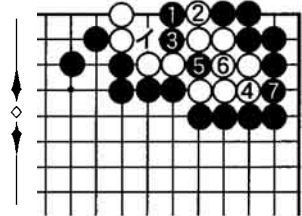
新委員長に稗田慶三氏



今、職場では政府方針の下、定員削減が進行しています。その影響は内部・外部を問わず、すべての事務系統に及んでいます。職員は「あれもこれも」を求められ、精神的・肉体的負担の中で仕事をこなしています。またこの間、育児に関わる諸制度が整備されましたが、その取得もはかれる状況もあります。私は、一人ひとりの個性が尊重され、ゆとりと誇りを持って働き続けられる職場の実現が急務と考え、そのために奮闘する所存です。

詰 碁

【解答】黒1から3と打つのが好手段。白4に黒5、7で白死です。黒1で白1で白生き。黒3で6は白3で白生きです。



新役員紹介

【中央執行委員長】

稗田 慶三（近畿・新）

【副中央執行委員長】

池野谷正美（東海・新）

高橋 誠（東京・新）

山本 浩二（東京・再）

【書記長】

真貝 正治（関信・再）

【書記次長】

木村 和由（東京・再）

【中央執行委員】

阿部 富次（関信・再）

【統制委員会議長】

小林 寛昭（東京・新）

【会計監査委員】

須澤 務（関信・新）

館 豊（東京・再）

【退任された役員】

細川 潔（東海）

黒河内隆史（関信）

朴木 昭一（東京）

澤田 孝司（北陸）

松本 純治（近畿）

北村 満男（関信）

磯部 幸夫（東京）

お疲れ様でした。

大会宣言

私たちは第74回定期大会を、8月20日、21日の2日間開催した。全国から2日間で延べ117人の仲間が参加し、一年間の活動報告や活発な議論が行われ、これからの一年間、当局の労働強化阻止のたたかいや平和憲法を守り、立憲主義を取り戻すたたかいに結集する意思統一がされた。

いま、国税職員は、当局の「調査日数の確保」のために繰り出される一方的な施策、試行により「ゆとり」が奪われ、労働強化に追い込まれている。「効率化」「合理化」によって浮いた事務量は、調査日数に振り替えられるため、調査内部事務が疎かにされている。個人課税部門では、恒常的に繁忙状態にある内部事務担当者にも調査事務が計画されるなど、当局のなり振り構わない姿勢があらさまになってきた。

また、「調査日数の確保」のための施策に管理運営部門が大きな影響を受け、「あれも、これも」が押し付けられようとしている。そのため、管理運営部門では、「早出晩退」が常態化し、実員不足や精通者が育たないなど構造的な問題が指摘されている。そして、これまで潜在化していた多くの問題が目に見えるようになってきた。

私たちは、この当局の労働強化の押し付けに対し、職場の仲間と連帯して、職場に「ゆとり」と「誇り」を取り戻すたたかいに向かう決意をした。

組織拡大の取り組みを展開する中で、加入者から「全国税に入って青空が広がった」と活き活き働いている報告が寄せられた。

今年7月に行われた参議院選挙の結果、日本国憲法を改悪しようとする改憲勢力が衆・参両院で3分の2を超えた。改憲問題を選挙の争点から終始隠していた安倍首相は、選挙で勝利した途端に政治日程に上げることを選挙後の記者会見で表明した。平和憲法を守るたたかいは、まさしく正念場を迎えている。

私たちは、改労働組合がこれまで培ってきた反動勢力とのたたかいのノウハウを還元する役割が求められている。

この一年、「戦争できる国」づくりを許さず、自衛隊員を海外に送り込み、殺し、殺される道に踏み込ませないために、そして日本の政治に立憲主義・民主主義を取り戻すために、多くの国民と連帯した運動に結集することを決意する。

以上、宣言する。

2016年8月21日

全国税労働組合第74回定期大会

青年の早朝出勤



近畿・小林代議員

管理運営部門の若手は、書庫の書類を出すためもあって、早くから出勤している。全国税はかつて青年のお茶くみ・机拭きでの早出をやめさせるよう取り組んできた。職場全体の意識を変えていく運動をしなければならぬ。

副署長が若い人の早朝出勤を心配していた。超勤手当を出すように指示していた。

全国税に加入を！



東海・寺坪代議員

異動後、近畿の行(二)職員に連絡したとき、「全国税入って良かった」と言ってきた。「管理職の対応が変わった。多少のマイナスはあったかもしれないが、気持ち晴れ渡ったのは代えられない」と言っていた。

私は農水省からの配転者だ。職場には、途中から国税職場に来た職員が多数いる。また、パワハラを見たり、当事者になつたりと、途中から入ってきた職員だからこそ、職場の雰囲気の問題ありと感じている。

「全国税に入って青空が広がった」という発言があったが私も同じ気持ちだった。

次号から紙面が変わります

次号から現在のタフroid版からB4版に紙面を変更します。今後も読みやすい紙面作りに努めますので、職場のみなさんにはこれからもお読みいただくようお願いいたします。